

持続可能な漁業プロジェクト



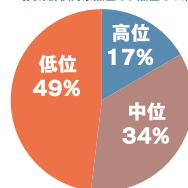
FIP-AIP

O U T L I N E

ピンチです。



我が国周辺の資源水準の状況
(資源評価対象魚種 50 魚種 84 系群)

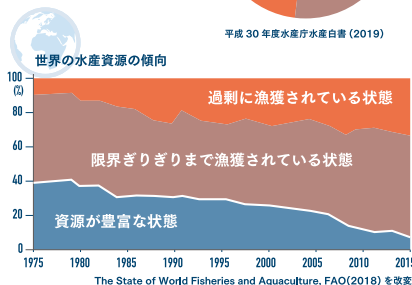


平成 30 年度水産庁水産白書 (2019)

今、世界の海はピンチです。

世界における食用魚の 80% 以上がすでに生物学的に獲っても良いとされる限度以上に漁獲されています。

日本でも 80% 以上の魚が「獲りすぎ」「限界ギリギリ」という評価なのです。

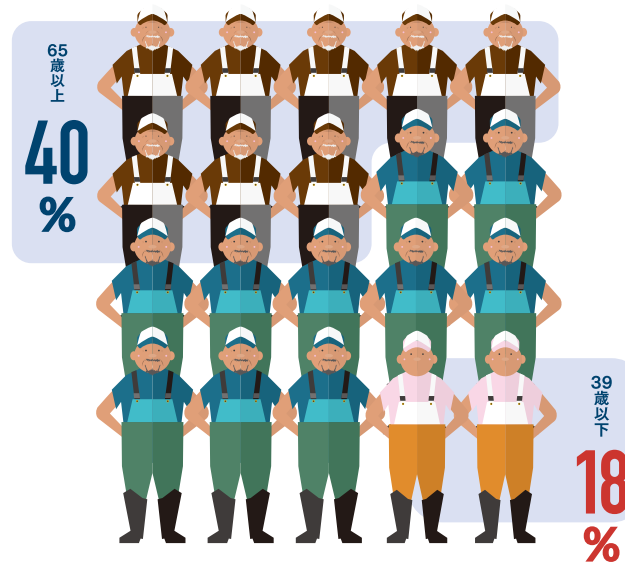


2019年 **77** 億人

2050年 **90** 億人

世界の人口が 2050 年には 90 億人になり、タンパク源の不足が予想されています。そのため水産物が国際的な注目を浴びています。

漁師がいなくなってしまう



漁師はいま日本に 16 万人いますが、約 40% が 65 歳以上、39 歳以下は 18% しかいません。

このままでは食用魚よりも先に魚を取る人がいなくなってしまう。

漁業を未来に残すためにも、水産資源を増やし、適正な価格で取引する良い循環を作り未来もみんなが魚を食べられる状態を作らなければなりません。

平成 30 年度水産白書、水産庁 (2019)



環境

経済

社会

持続可能な漁業とは キレイごとではありません！

持続可能とは「環境」「経済」「社会」のバランスが取れている状態。漁業は「環境」の上に成り立っているため、環境を守り、資源を増やし、市場で差別化する生産現場と、そこから調達する企業とがつながることで経済性・環境を両立させなければなりません。

そこでこれからも漁業を 続ける為の取り組みが必要です。

それが 漁業改善プロジェクトです

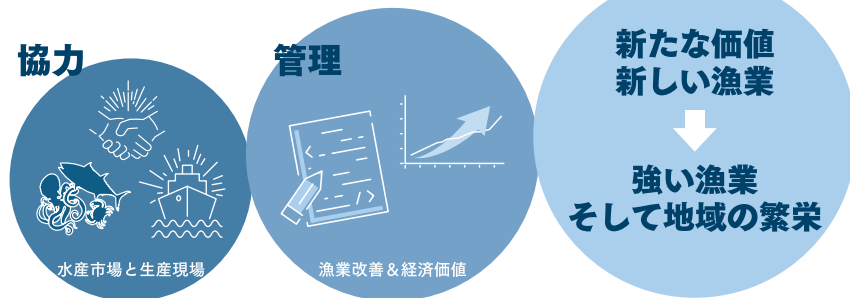
漁業改善プロジェクトとは、海の環境を守り、水産資源を増やし、持続可能な漁業を目指す国際的なプロジェクトです。
しかし、持続可能な漁業を確立することは簡単ではありません。



水産市場や漁業、地域や自治体などが一丸となって、漁業の持続可能性を改善し、その「過程」を応援する取り組みです。

持続可能な漁業を目指す上で資源の管理は非常に重要です。

→ 漁業者だけで管理の課題や資源評価の課題を解決することは困難



漁業改善プロジェクト<天然の水産物>

FIP (Fisheries Improvement Project)

養殖漁業改善プロジェクト<養殖の水産物>

AIP (Aquaculture Improvement Project)

いきなり完璧なゴールを目指すのではなく、まずはできることから皆で少しずつ始める。そのプロセスがFIP・AIPです。

こんな方に向いています

国際認証エコラベル (MSC 認証 ・ASC 認証)* を取得されたい方	認証取得は 検討しているが、 いつでも取得できるように 準備をされたい方	地域を漁業で 盛り上げたい方
市場における 差別化を図りたい方	資源管理の 必要性を感じている方	
北米市場や ヨーロッパへの 輸出に興味をもつ方	漁業の活動を もっとみんなに 知ってもらいたい方	SDGsに貢献して ブランドイメージを 向上されたい方

*MSC 認証とは … 国際的な非営利団体、Marine Stewardship Council(海洋管理協議会)が運営する、持続可能な漁業・水産物の認証制度。認証取得漁業で獲られた水産物には、その証としてMSCの「海のエコラベル」を表示することができる。GSSIにも承認され、現在世界で最も広く使われている認証制度。世界の漁獲高の約14%が、MSC認証取得漁業で獲られていると言われる。

ASC 認証とは … 国際的な非営利団体、Aquaculture Stewardship Council(水産養殖管理協議会)の運営する、養殖水産物の認証制度。環境と社会に配慮し、責任ある養殖により生産されたものであることを証明する。GSSIの認定を受けている。

FIP・AIP

～プロジェクトの発展と実行の流れ～

<FIP・AIP を始めるために>

1

調査

まずは実現したい未来の漁業についての想いを教えてください。

その後、現状の漁業を分析し、目標の実現に必要な課題を洗い出します。(これを「予備審査」と呼びます。)

2

合意

目標を達成するために、いつ・誰が・何を・いつまでに改善するか明確にした活動計画を策定します。そして課題を解決するために必要なメンバーを集め、活動計画に合意そして役割を明記した覚書を締結します。

活動計画は通常1～5年かかります。

3

実行

<2>で合意された計画を期限内に実行します。実行する上で直面する課題は参加者みんなで協議し解決します。

<実行～目標実現>

4

確認

半年ごとに計画の進捗確認、今後の進め方を調整します。進捗状況が良い場合はメディアで取り上げられることも。

進捗状況は、世界各国のFIPの進捗状況を一目でわかるようにしたグローバルサイト、Fisheryprogress.orgでも公表されます。

5

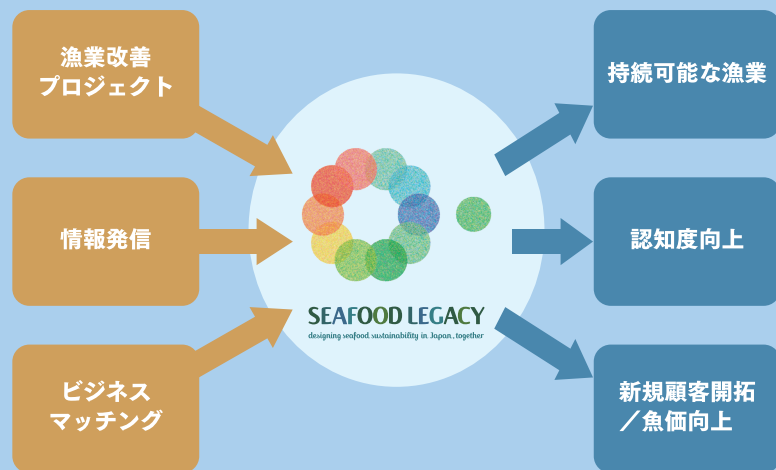
目標実現

MSCやASCなど国際的な認証取得を目標に掲げる漁業者も多くいます。認証の取得は長期的な計画となりますが、FIP・AIPは目標達成までの「過程」に価値がつくので、挑戦し続けるメリットがあります。



シーフードレガシーだからできること

シーフードレガシーは、社会・経済・環境におけるサステナビリティを念頭に、海と人をつなぐ象徴としての水産物（シーフード）を豊かな状態で未来世代に継ぐ（レガシー）ことを目指す、ソーシャル・ベンチャーです。世界を網羅する幅広いネットワークや専門知識を活かし、国内外の漁業者、水産企業、NGO、政府等と協働して、日本の水産業に適した解決策を描きます。



FIP・AIPの構築と管理

日本で唯一、FIP・AIP に取り組んだ実績を持つ専門家があり、また国際エコラベルの基準を熟知しているため、現実的な計画を関係者と立て、併走者としてサポートします。



MSC認証やASC認証取得までのサポート

現状から認証取得までの道筋をご提案いたします。本審査までに改善が必要な課題の抽出、本審査で求められる確認事項の洗い出し、本審査入り前の事前審査を行い本審査に十分準備ができていますのか分析、本審査の立合いなど全面サポートします。



ビジネスマッチング

販路開拓や認知度を上げるためのPR活動にも取り組みます。海環境をよくしていく漁業者とその取り組みを応援したい企業とのマッチングをします。



資源管理アドバイス

世界での事例を参考にその漁業や地域にあった資源管理の方法をアドバイスします。



トレーサビリティの強化

IoT技術などを利用した、効率率的で透明性も確実になるツールやシステムの導入をサポートします。



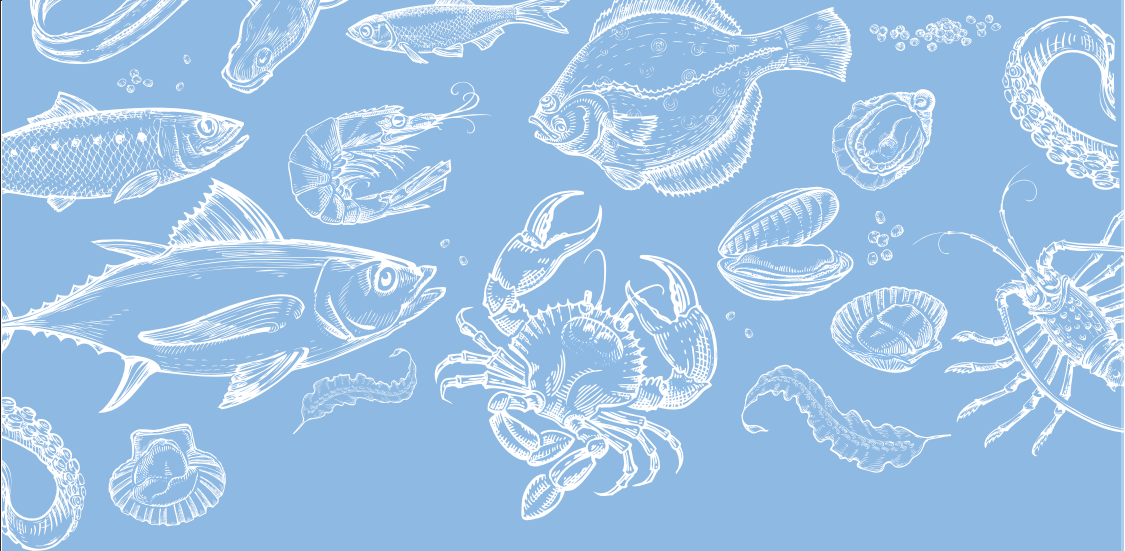
株式会社シーフードレガシー (Seafood Legacy Co., Ltd.)

✉ info@seafoodlegacy.jp ☎ 03-6884-6496

<https://seafoodlegacy.com/>

🐦 @Seafood_Legacy 📘 @seafoodlegacy

まずはお気軽にお問い合わせください



**株式会社シーフードレガシー
(Seafood Legacy Co., Ltd.)**

〒104-0061

東京都中央区銀座 8-14-9

デュプレックス銀座タワー 8/14 201

✉ info@seafoodlegacy.jp

☎ 03-6884-6496

<https://seafoodlegacy.com/>

まずはお気軽にお問い合わせください